

## 発見! 白井の仕事人 82

### ～まっすぐ、強く <sup>たくみ</sup>巧であれ～ <sup>かまがやこうぎょう</sup>鎌ヶ谷巧業(株)



鎌ヶ谷巧業 白井工場

今回の仕事人は、鎌ヶ谷巧業（白井工業団地内）を紹介します。

創業者の今井良松<sup>よしまつ</sup>さんは、もともと銀行に勤務していましたが、自らの手で事業を興したいとの志を胸に銀行を退職し、昭和41年に個人営業として「鎌ヶ谷巧業」を創業しました。

昭和44年2月、白井市に鎌ヶ谷巧業(株)を設立。同年4月に営業、経理を鎌ヶ谷市へ移転して本社としました。現在は二代目の今井靖彦<sup>やすひこ</sup>さんが経営しています。

営業部長の秋谷さんは、「創業当初は高速道路に隣接する屋外広告のフレーム製作の依頼が多くありましたが、既存の建物の上に新しく作っていくことはとても危険な作業でした。現在は主にビルや工場などで使われる躯体鉄骨<sup>たい</sup>の製造から加工、納品、設置までを行っています」と話します。

最近の取り組みについて伺うと「徹底的な管理体制でお客さまからの評判も良く、1つの案件に担当者を必ず1人以上つけることにより、話がスムーズに現場へ反映され、納期がずれることをできるだけ少なくすることができています。また、一般的に他業種と比べて建築業界は技術導入が遅い業種とされていますが、当社ではいち早く工場の自動化に取り組んでいて、平成21年に1次加工全自動ラインシステムを導入し、翌年には最新鋭の溶接ロボットシステムを導入しました。同じものを作ることがない中、試行錯誤しながら自動化を進めたことにより、生産性を確保することに成功し、会社の安定につなげることができました」といいます。

鎌ヶ谷巧業では、「子どもたちの個性を大切にしながら個々の能力も伸ばしてあげたい」との思いから幼児教室を運営しています。近隣では船橋市など千葉県内で3教室、埼玉県で1教室開いて、教育にも力を入れているそうです。

「私たちは、企業理念に『巧みであれ』という言葉掲げています。これは「巧」の技で鉄に命を吹き込み、建築物を支える鉄骨を作り上げる、われわれの決意です。私たちはこれからもプロフェッショナルが一丸となり、鉄骨加工のみにとどまらず「巧」の視点で世の中に貢献し、安心、信頼のサービスを提供していきたい」と語る秋谷さんから鎌ヶ谷巧業のモノづくりに対する情熱を感じました。

問 産業振興課商工振興班 内線3241



溶接の様子

鎌ヶ谷巧業(株)  
☎443-6181